



## クリスマス工作会～ミントの会～

12月18日(月)、19日(火)のお昼休みに、地域ボランティアのミントの会の方々とお手伝いの図書委員会の子供たちが全校児童を対象とした「クリスマス工作会」を図書室で開催しました。事前にミントの会や図書委員会で準備していただいていたパーツを上手に組み合わせ、世界に一つのクリスマスカード等を作成しました。どこからかクリスマスソングが聴こえてくるような楽しい企画で、笑顔あふれる時間でした。



## 二学期 終業式 ～学校をつくるのはだれ？～

登校日数、80日の二学期も、本日で終了です。本日の終業式では、こんな話をしました。

突然ですが、「学校はだれがつくるの？」と聞かれたら、どう答えますか？校長先生？先生たち？いいえ…それは、「みんな」です。

二学期が始まってすぐに、児童会テーマの発表がありました。「みどりいっぱい あいさついっぱい 笑顔あふれる若葉小」です。この「児童会テーマに近づくためにどうしたらよいか」と、若葉小では10の委員会がそれぞれに取り組んでくれていますね。学校の日常を支えてくれているのはもちろんのこと、色々なイベントも企画してくれました。1年生から6年生までみんなで取り組んだボランティア活動、挨拶運動、なかよしタイム、なかよし集会等、自分たちでよりよい学校に、また、みんなが過ごしやすい学校にするために動いています。掃除もそうです。やらされているのではなく、きれいな整頓された環境をみんなで作ることで、みんなの心地よい環境をつくっているのです。二学期の大きなイベントの「学習発表会」もみんなで作りに上げていきましたね。各学年がそれぞれの「目標とする姿」に向かって取り組んでいました。特に2回目の、保護者の方々に見てもらう発表は、持っている力を最大限に発揮した姿だったと思います。「みんな」が一生懸命に何かをする姿は、見ている人に伝わり、感動を与えます。若葉小学校をつくっているのは、「みんな」なんです。この二学期は、みんなで力を合わせてよく頑張りましたね。

そして、その「みんな」をつくっているのは、一人一人の「あなた」なのです。「学校」とは、何のためにあるのかと考えたとき、どう答えますか。「友達と会うため」「遊ぶため」「将来のため」…いろいろなことが頭に浮かぶでしょう。私は、「学校とは学ぶところ」と考えています。「学ぶ」と「学習」は少し違います。「学習」は、「学びを習う」「教わる」こと。「学ぶ」は、もっと広く、自分から「知りたい」「分かってほしい」「伝えたい」等、間違いを恐れずに、「自分の方から学びとろうとする」ことだと思っています。あなたは、学校の大半の時間である授業中に「学ぶ」自分になっていましたか？先日の Well-being アンケートに「自ら学ぶ」の項目がありました。低学年も高学年も7月に比べるとぐ～んと伸びていました。授業をつくる「学びの主人公」になった人が増えたことがとてもうれしいです。学校をつくる主役は一人一人であり、その力が合わさってできた「みんな」なんです。ぜひ三学期も「学びの主人公」となって、みんなで力を合わせて生き生きとした笑顔あふれる若葉小学校をつくってほしいと思います。

冬休みは、楽しいこともたくさんあると思います。新年の新しい気持ちとともに1月にまたみんなに会えることを楽しみにしています。